

試験研究課題:アカモクの機能性評価と機能性及び品質向上技術の確立
(令和7年度「産学公京もの新ブランド価値創出事業」)

アカモクの品質向上技術試験の実施

京都府が全国に先駆けて養殖技術を確立したアカモクは、ヨコエビ等の付着生物が加工現場における異物となるため、これらの除去が課題となっています。

そこで、当センターでは、養殖アカモクの付着生物を簡単に除去する技術開発を進めています。1月9日に、塩分濃度を変えた海水にアカモクを浸漬し、ヨコエビの遊泳やアカモクの色調の変化を確認した結果、50%海水であればヨコエビの遊泳が停止し、アカモクの色調はあまり変わらないという結果が得られました。

今後は、付着生物が増加する2月下旬以降にも試験を行い、漁業現場における簡単な除去技術の確立に繋げていく予定です。



試験区	遊泳	色調	備考
海水	○	◎	変色なし
75% 海水	○	○	わずかに変色
50% 海水	△	○	ヨコエビ停止、わずかに変色
25% 海水	△	×	ヨコエビ停止、ほとんど変色
淡水	×	×	ヨコエビ即死、ほとんど変色

ヨコエビの写真(左)と試験の結果(右)



試験の様子



色調変化(上・下)